

ロサルタンK錠 25mg 「日新」
ロサルタンK錠 50mg 「日新」
ロサルタンK錠 100mg 「日新」

【この薬は？】

販売名	ロサルタンK錠 25mg 「日新」 Losartan Potassium Tablets 25mg “NISSIN”	ロサルタンK錠 50mg 「日新」 Losartan Potassium Tablets 50mg “NISSIN”	ロサルタンK錠 100mg 「日新」 Losartan Potassium Tablets 100mg “NISSIN”
一般名	ロサルタンカリウム Losartan Potassium		
含有量 (1 錠中)	25 mg	50 mg	100 mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に電子化された添付文書が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、アンジオテンシンⅡ（AⅡ）受容体拮抗薬と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、血管を収縮する作用のあるアンジオテンシンⅡと呼ばれる物質の働きを抑えることで血圧を下げます。また、糖尿病による腎臓病（糖尿病性腎症）の悪化を遅らせ、タンパク尿を減らします。
- ・次の病気の人に処方されます。

高血圧症

高血圧及び蛋白尿を伴う 2 型糖尿病における糖尿病性腎症

- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

- 次の人は、この薬を使用することはできません。
 - ・過去にロサルタンK錠「日新」に含まれる成分で過敏症のあった人
 - ・妊婦または妊娠している可能性がある人
 - ・肝臓に重篤な障害がある人
 - ・アリスキレン（ラジレス錠）を使用している糖尿病の人（ただし、他の血圧を下げる治療を行ってもなお血圧のコントロールが著しく不良の人を除く）
- 次の人は、慎重に使う必要があります。飲み始める前に医師または薬剤師に告げてください。
 - ・腎動脈狭窄のある人
 - ・高カリウム血症の人
 - ・腎臓に重篤な障害がある人
 - ・肝臓に障害がある人、過去に肝臓に障害があった人
 - ・脳血管に障害がある人
 - ・体液（血液、尿など）量が減少している人
 - ・高齢の人
- この薬には併用してはいけない薬〔アリスキレン（ラジレス錠）（糖尿病の人の場合、ただし、他の血圧を下げる治療を行ってもなお血圧のコントロールが著しく不良の人を除く）〕や、併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

販売名	ロサルタンK錠 25mg「日新」	ロサルタンK錠 50mg「日新」	ロサルタンK錠 100mg「日新」
一日量	25～50 mg ただし、症状により 1 日 100 mg まで増量されることがあります。		
飲む回数	1 日 1 回		

●どのように飲むか？

コップ 1 杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して 2 回分を一度に飲まないでください。

気がついた時に、1 回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は 1 回とばして、次の時間に 1 回分飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・腎臓に障害がある人やコントロール不良の糖尿病の人は高カリウム血症をおこすおそれがあるので、これらの人では必要に応じて血液検査が行われます。
- ・2 型糖尿病の糖尿病性腎症の人では貧血や血清カリウム上昇、血清クレアチニン上昇があらわれやすいので、定期的に血液検査が行われます。特に、この薬とアンジオテンシン変換酵素阻害剤と呼ばれる薬を併用した場合、急性腎障害、高カリウム血症のリスクが増加するとの報告があります。
- ・一時的な血圧の低下（ショック症状、意識消失、呼吸困難等を伴う）があらわれることがあるので、そのような場合には、医師に連絡してください。特に、利尿降圧剤を使っている人や嚴重な減塩療法中の人、血液透析中の人では十分注意してください。
- ・血圧が下がることにより、めまい、ふらつきがあらわれることがあるので、高所作業、自動車の運転など危険を伴う機械の操作には注意してください。
- ・手術前 24 時間はこの薬を使用しないことが望ましいので、手術を受ける場合、必ずこの薬を飲んでいないことを医師に伝え、医師の指示に従ってください。
- ・肝炎などの重篤な肝障害があらわれたとの報告があるので、吐き気、嘔吐（おうと）、体がだるいなどの症状があらわれた場合には、速やかに医師に相談してください。

- ・妊婦または妊娠している可能性がある人はこの薬を使うことができません。
- ・この薬を使用中に妊娠が判明した場合は、ただちに医師に相談してください。
- ・妊娠する可能性がある人は、医師や薬剤師に、この薬が妊婦や胎児に影響を及ぼす可能性があることについて説明を受け、十分に理解してください。
特に、妊娠の希望や予定のある人は、医師に相談してください。
- ・授乳中の人、授乳を中止してください。

薬の影響を心配する女性に対し、妊娠と薬情報センターで相談に応じています。
さらに詳しい説明を希望される場合には妊娠と薬情報センターにご相談ください。

《妊娠と薬情報センター》

（国立成育医療研究センター）電話：03-5494-7845

- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいないことを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
アナフィラキシー	全身のかゆみ、じんま疹、喉のかゆみ、ふらつき、動悸、息苦しい
血管浮腫 けっかんふしゅ	唇・まぶた・舌・口の中・顔・首が急に腫れる、喉がつまる感じ、息苦しい、声が出にくい

重大な副作用	主な自覚症状
急性肝炎 きゅうせいかんえん	体がだるい、吐き気、嘔吐、食欲不振、発熱、上腹部痛、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、体がかゆくなる、尿の色が濃くなる
劇症肝炎 げきしょうかんえん	急な意識の低下、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、体がかゆくなる、尿の色が濃くなる、お腹が張る、急激に体重が増える、血を吐く、便に血が混じる（鮮紅色～暗赤色または黒色）
腎不全 じんふぜん	尿量が減る、むくみ、体がだるい
ショック	冷汗が出る、めまい、顔面蒼白（そうはく）、手足が冷たくなる、意識の消失
失神 しっしん	短時間、意識を失い倒れる
意識消失 いしきしょうしつ	意識の消失
横紋筋融解症 おうもんきんゆうかいしょう	手足のこわばり、手足のしびれ、脱力感、筋肉の痛み、尿が赤褐色になる
高カリウム血症 こうカリウムけっしょう	体のしびれ、体に力が入らない、吐き気、嘔吐、下痢、お腹が張る
不整脈 ふせいみやく	めまい、動悸、脈が遅くなる、気を失う、脈がとぶ
汎血球減少 はんけっきゅうげんしょう	めまい、鼻血、耳鳴り、歯ぐきの出血、息切れ、動悸、あおあざができる、出血しやすい、発熱、寒気、喉の痛み
白血球減少 はっけっきゅうげんしょう	突然の高熱、寒気、喉の痛み
血小板減少 けっしょうばんげんしょう	鼻血、歯ぐきの出血、あおあざができる、出血が止まりにくい
低血糖 ていけっとう	お腹がすく、冷汗が出る、血の気が引く、疲れやすい、手足のふるえ、けいれん、意識の低下
低ナトリウム血症 ていナトリウムけっしょう	吐き気、頭痛、嘔吐、けいれん、意識の低下

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。
これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	ふらつき、体がだるい、発熱、体がかゆくなる、急激に体重が増える、むくみ、冷汗が出る、脱力感、体のしびれ、体に力が入らない、出血しやすい、寒気、突然の高熱、出血が止まりにくい、疲れやすい、けいれん
頭部	急な意識の低下、めまい、意識の消失、短時間、意識を失い倒れる、気を失う、意識の低下、頭痛
顔面	唇・まぶた・舌・口の中・顔・首が急に腫れる、顔面蒼白、鼻血、血の気が引く
眼	白目が黄色くなる
耳	耳鳴り

部位	自覚症状
口や喉	喉のかゆみ、喉がつまる感じ、声が出にくい、吐き気、嘔吐、血を吐く、歯ぐきの出血、喉の痛み
胸部	動悸、息苦しい、息切れ
腹部	食欲不振、上腹部痛、お腹が張る、お腹がすく
手・足	手足が冷たくなる、手足のこわばり、手足のしびれ、脈が遅くなる、脈がとぶ、手足のふるえ
皮膚	全身のかゆみ、じんま疹、皮膚が黄色くなる、あおあざができる
筋肉	筋肉の痛み
尿	尿の色が濃くなる、尿量が減る、尿が赤褐色になる
便	便に血が混じる（鮮紅色～暗赤色または黒色）、下痢

【この薬の形は？】

販売名	ロサルタンK錠 25mg「日新」	ロサルタンK錠 50mg「日新」	ロサルタンK錠 100mg「日新」
PTP シート			
形状	フィルム コーティング錠 	フィルム コーティング錠 	フィルム コーティング錠 
直径	5.6mm	7.6mm	8.1mm
厚さ	3.0mm	3.4mm	3.5mm
重さ	78mg	155mg	185mg
色	白色～帯黄白色	白色～帯黄白色	白色～帯黄白色
識別コード	NS 57	NS 58	NS 59

【この薬に含まれているのは？】

販売名	ロサルタンK錠 25mg「日新」	ロサルタンK錠 50mg「日新」	ロサルタンK錠 100mg「日新」
有効成分	日本薬局方 ロサルタンカリウム		
添加物	乳糖水和物、結晶セルロース、部分アルファ-化デンプン、ステアリン酸マグネシウム、ヒプロメロース、ヒドロキシプロピルセルロース、マクロゴール、酸化チタン		乳糖水和物、結晶セルロース、ステアリン酸マグネシウム、ヒプロメロース、ヒドロキシプロピルセルロース、マクロゴール、酸化チタン

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：日新製薬株式会社 (<https://www.yg-nissin.co.jp/>)

安全管理部

電話番号：023-655-2131

E-mail：d-info@yg-nissin.co.jp